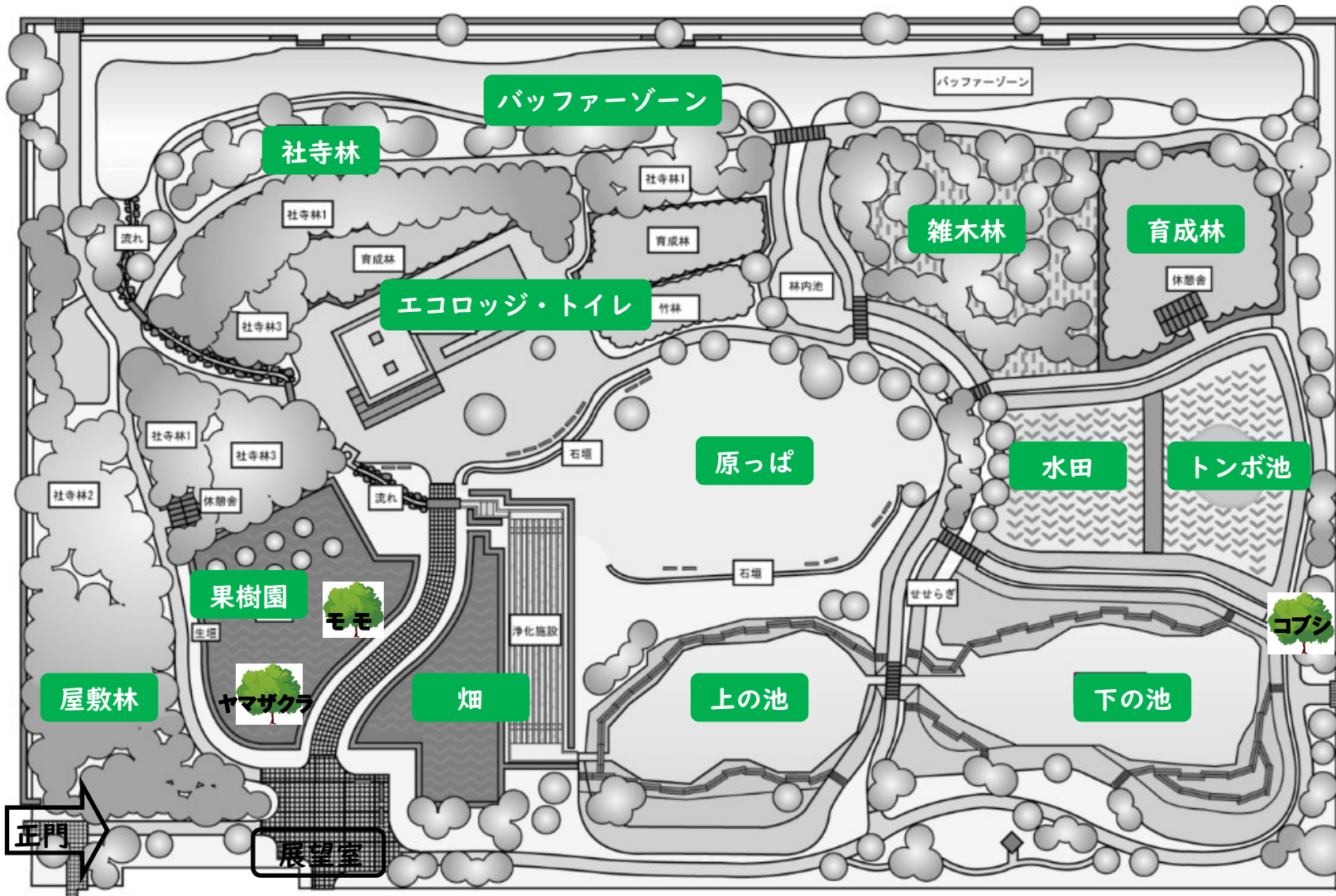


生態園マップ～2023早春編～

季節のできごと

- 冬の間、冷たい北風に耐えてきた木々も、暖かな春の日差しを受け、芽吹き始めました。
- 雑木林の落葉樹の葉が落ちたことや、樹木医の剪定により生態園全体の見通しがよくなっています。生態園に春が訪れたことを告げている鳥（ヒヨドリ、ツグミ、シジュウカラ、コゲラ、ウグイスなど）を、バードウォッチングしてみませんか。



春告鳥「ウグイス」



とても警戒心が強くめったに人前に姿を現すことがないウグイス。鶯色の由来である灰色がかつた渋いグリーン色をした昆虫を食べる15cmくらいの野鳥です。

低い藪の中で「ジャツ、ジャツ（地鳴き）」と地味に鳴いています。春を告げる「ホーホケキョ」のさえずりは、雄だけの高鳴きで縄張り宣言と考えられています。

ちなみに諺にある「梅にウグイス（仲の良い間柄のたとえ）」実際に梅にとまっているのはウグイスではなく花蜜大好き、警戒心が薄いメジロです。



CESSチャンネル (Youtube)

生態園についても配信

春を告げる樹木

3月～4月にほかの木々に先駆けて白い花が一斉に咲く「コブシ」に「ハクモクレン」。モクレン科の落葉広葉樹の高木です。残念ながら生態園に「ハクモクレン」はありませんが、春の訪れを告げる樹木の代表格です。

コブシ



蕾の形や、でこぼこした果実(集合果)が握りこぶしに似ていることから名付けられた「コブシ」。花と枝葉はレモンのようなよい香りがして、開花と同時に花の下に小型の葉がひとつ開きます。

よく似た白い花を咲かせる「コブシ」と「ハクモクレン」を見分けてみよう!



花べん(花びら)が6枚



花べん(花びら)が9枚
下3枚(1~3)はがく



他の公園で撮影した
ハクモクレン

花びらの枚数に注目!

果樹園

自然の生物多様性を育む上で、果樹園も大切な場所です。この時期、ユズやナツダイダイ(通称ナツミカン)が実ります。柑橘類はチョウなどの幼虫の食草でもあります。

ヤマザクラ



当センター開館の記念樹「ヤマザクラ」。サクラの代表格です。3～4月頃、開花とほぼ同時に赤みを帯びた若葉を開くのが特徴です。野生種のため開花時期や色合いなど、木ごとに個性が見られます。

モモ



ウメと同じく、中国原産の落葉小高木で、葉の展開前の3月に開花します。花は直径2.5cm～3.5cmで、芳香があります。生態園のモモは鮮やかな濃いピンク色で、果樹園の中でもとても目を引く存在です。

WANTED

サクラを枯らす外来害虫
クビアカツヤカミキリ



成虫やフラスを発見したらご連絡ください!

埼玉環境科学国際センター
連絡先 0480-73-8331

日本のサクラを守るために
外来害虫「クビアカツヤカミキリ」の
発見にご協力ください!!



特徴

※成虫の体長は25-40mm程度。
※成虫の卵や幼虫は極めて小さく、体は黒い。前胸背板の側面に黒い点状の模様(点)を1対持つ(図1)と雌の成虫の一部分。

※触角は黒色で、オス(図1)の触角は雌より長く、オス(図2)の触角は体長よりも短い。

図1 オス成虫 図2 雌成虫

成虫を卵や幼虫から発見した様子

フラス

(成虫の卵や幼虫を採取した様子)